

1 社会・治安情勢

(1) 国家の統治及び社会の安寧秩序を著しく不安定にするような戦闘，暴動，凶悪犯罪等は認められず，また5月にハノイ市内などにおいて大規模な反中国抗議活動が取り組まれたものの，その後同様の抗議行動の発生は確認されていない。

しかし，南シナ海問題は現在も燻っており，当地では，引き続き南シナ海問題について各種報道が為されているほか，今年1月に入ってから中国が保有する石油掘削リグが南シナ海を南下しているとの報道も為されていることから，今後の情勢如何では，再び中国に対して同様の抗議活動が行われる可能性が高く，予断を許さない状況にある。

(2) 当地は共産党による一党体制で政権は安定しているといえる。期間中，新国会議事堂で第13期国会第8会期が行われ，各種法案が審議された。また，今国会において国会の役職者50名に対する参考信任投票が実施された。

(3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 当地では，犯罪発生状況に関する公的な統計を閲覧できるインフラは整備されていないが，日常，凶悪事件を含む犯罪の発生が報じられない日はなく，一般犯罪及び凶悪犯罪ともに断続的に発生していることが認められる。また近年，薬物密輸・密売事件の検挙報道が増えており，大麻や合成麻薬を始めとした薬物がベトナム国内に蔓延してきていることが窺える。

参考の統計としては，12月末に公安省が開催した総括会議において公表された2014年の犯罪発生件数等である。

【刑法犯】

ア 認知件数：4万5,490件

イ 検挙率：75.83%（検挙件数にして約3万4,495件に相当）

ウ 検挙人員：約8万7,000人（内指名手配犯7,759人を含む）

【薬物犯罪】

ア 検挙件数：約2万件

イ 検挙人員：約3万人

ウ 各薬物押収量：ヘロイン約730キロ，合成麻薬55万6,308錠

(2) 邦人被害事案

ア ホイアンを訪れていた邦人観光客が，ホイアン市内の旧市街を自転車で散策中，バイクに乗った男性に前かごから鞆を盗まれるひったくりの被害が発生している。

なお，数時間後ベトナム人の容疑者が逮捕され，被害品である鞆も被害者に無事返却されている。

イ 当地を訪れていた邦人観光客が，旧市街地で知り合ったベトナム人とホテルの一室に入ったところ，隙を見て財布と携帯電話を持って逃げられる窃盗の被害が

発生している。

ウ 当地を訪れていた邦人観光客が、旧市街地においてオートバイに乗った男女2人組に呼び止められ、話をしている際にウエストポーチから財布を盗まれるスリの被害が発生している。

エ 当地を訪れていた邦人観光客が、旧市街地においてオートバイに乗った男性に声を掛けられ、その後この男性の知人とみられる女性と共に3人でオートバイに乗車している際、ウエストポーチから財布を盗まれるスリの被害が発生している。

オ 当地に滞在中の邦人が、ダナン市内において昼間オートバイを運転中、対向してきたトラックと正面衝突して亡くなる交通死亡事故が発生している。

(2) 邦人以外の被害事案

ア 10月中旬、ハノイ市内タイホー地区において、外国人が居住するレジデンスから携帯電話機、電子機器及び貴金属類等が盗まれる空き巣事件が発生している。犯人は、建設業に従事するベトナム人男性2名で同レジデンス3階の無施錠窓から侵入したと供述している。

イ 12月中旬、ベトナム東南部バリア・ブンタウ省ブンタウ市において食堂の男性オーナーが刺殺される殺人事件が発生している。犯人は、ハイズオン省出身のベトナム人男性で、事件発生から数日後に検挙されている。犯人は、このほかに8月にホーチミン市で男性1名及びクアンガイ省で男性1名を、9月にはハイフオン市で男性1名の計3名のベトナム人を刺殺したと供述している。

3 テロ・爆弾事件等発生状況

テロ・爆弾事件の発生については認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

しかしベトナムにおいては、日常的に人身売買事件の発生や検挙が報じられており、12月中旬には、ハノイ市内ティンチー区において、路上で遊んでいたベトナム人女児を誘拐し、身代金3,000万ベトナムドンを要求する事件が発生している。犯人はハノイ市内ハードン地区に居住するベトナム人女性で、事件発生の翌日には地元警察によって検挙されている。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

(1) 日本企業に対するストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。

(2) 10月中旬、石油5,200トン積載したベトナム船籍のタンカーがシンガポール沖でインドネシア人らしき海賊に乗っ取られ、積載していた石油を奪われる事件が発生している。また、12月初旬には、アスファルト2,300トン積載したベトナム船籍のタンカーが同じくシンガポール沖で海賊に襲われ、ベトナム人乗組員1名が死亡する事件も発生している。

シンガポールから南シナ海方面に向かう航路は、以前から武装した海賊が横行している海域であるが、ここ最近ハイジャック事件が断続的に発生していることから注意を要する。